

## 令和3年度第1回岡山県和牛改良委員会（書面開催）議事概要

- 1 会 期 令和3年5月31日（月）～6月14日（月）
- 2 方 法 書面による
- 3 回答者 委員：9名、オブザーバー委員：5名
- 4 協議事項

### （1）令和3年度肉用牛広域後代検定推進事業に係る農家採卵について（案）

本事業の農家採卵について、次の意見があり、県の方針について回答。

- ・高能力牛が作出できるよう、計画頭数の採卵依頼をお願いします。
- ・岡山県和牛界に貢献できる種雄牛の誕生を期待して賛同します。
- ・種雄牛の作出方針については良いと思いますが、交配種雄牛については岡山系にこだわらず全国レベルの雄牛を考慮したらと思います。

#### 【回答】

交配種雄牛については、岡山系その他、育種価評価値またはゲノミック評価値の高いものから選定し、能力が高く交配のしやすい種雄牛を作出したいと考えています。

- ・作出方針が3通りあるが、「万能型」種雄牛ではなく、まずは増体型で「突出型」した種雄牛が作出できるよう目標を絞り、改良されてから資質の改良を目指すという方針も考えられる。現在、受胎率の悪い安福久母体が増えている。今こそ岡山県精液のセールスポイントである受胎率の高さを生かし、資質に偏った母体のサイズを改良するときだと考える。

#### 【回答】

増体型種雄牛については、分娩難易度を考慮しつつも、期待に添える種雄牛の造成を目指します。

また、受胎性の高い精液は、遺伝要因の解明が進んでいないことから、この点を考慮した種雄牛の作出は難しいところですが、県精液の利点として期待に応えられるように努めます。

- ・採卵頭数について、5頭とされているが、5頭全てから受精卵が確保できるとは限らない。受精卵の種類が限定されてしまうリスクが高まるので、できるだけ多くの頭数から採卵すべきだと思う。

#### 【回答】

採卵頭数の増頭について、年度内に調整します。

### （2）後代検定終了牛等の措置（案）について

対象種雄牛2頭の淘汰・去勢について、全員の承認をもって了承されました。

- ・後代検定終了牛「新初義」号：淘汰
- ・直接検定終了牛「新花福富」号 去勢

以上